

気になったらすぐ相談！ もの忘れ相談会

▶日時＝4月11日(金)、5月9日(金)13時30分～14時15分、14時30分～15時15分
※予約制。
▶会場＝中央公民館2階談話室
▶内容
専門職（保健師、社会福祉士、介護支援専門員等）による認知症の個別相談
▶対象＝市内在住で、もの忘れや認知症について不安がある方、家族、事業所
▶利用料＝無料
▶申込方法＝電話（随時受付）
☎（70）0439

認知症カフェ あったかスペースモクセイ

▶日時＝4月17日(木)13時30分～15時30分
▶会場＝中部コミュニティセンター1階会議室
▶内容＝認知症の相談、参加者同士の交流、レクリエーション等
▶対象＝認知症の方とご家族、認知症に関心のある方、地域の方どなたでも歓迎
※「九十九里地域認知症家族の会 あんとんねえさ～ in 大網白里市」も同時に開催予定です。
※飲食の提供はありません。
☎（70）0439



地域の皆さんで介護予防しませんか？ ～地域介護予防活動補助金制度～

公民館等を利用して自主的に介護予防活動を行う団体へ、活動費用の一部を補助します。
▶補助金額＝上限8万円
▶対象＝本市に住民登録がある65歳以上

で構成されたおおむね10人以上の団体
▶申請期間＝4月1日(火)～9月30日(火)
▶申込方法＝高齢者支援課で申し込み
☎（70）0439

◆事故が発生したら
速やかに市へ連絡をお願いします。その後、事故報告書等をご提出いただき、手続きを開始します。



▲制度の詳細
（市ホームページ）

◆注意事項
・活動目的や趣旨を明確化しているものを定め、名簿（住所・氏名・生年月日必須）を備えている必要があります。
・市民活動におけるすべての事故を補償の対象とするものではありません。
・不特定多数の方が参加するイベント等を実施する場合には、民間の行事保険（レクリエーション保険やイベント保険）等への加入をお勧めします。
☎（70）0342

自治会・ボランティア活動等に対する 補償制度（市民活動災害補償制度）

市民活動中の事故に備えるため、市が保険料の全額を負担し補償する制度です。
▶対象活動Ⅱ市内に活動の拠点を置く団体が、無報酬（実費弁償程度を含む）で自主的かつ計画的に行う公益性のある活動、公益性のある市主催行事等
▶補償対象
①損害賠償責任事故Ⅱ市民団体および市民団体の構成員
②傷害事故または特定疾病事故Ⅱ市民団体の構成員および参加者
※活動の受益者、来場者、観覧者等は対象外。

後期高齢者医療保険料・介護保険料の基本的な納期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別徴収	○		○		○		●		●		●	
普通徴収				■	■	■	■	■	■	■	■	

○：仮徴収 ●：本徴収 ■：納付書または口座振替

地域包括支援センターだより

人生会議～もしものに備えるもしもの話。 もしものを笑顔で迎えるために～

人生の最終段階において、どのように過ごし、どのような医療やケアを受けたいと思いますか。
自分が大事にしたいことやこれからどう生きていきたいかという「これから希望」を身近な人と普段から話し合うことを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」といいます。
内容は「温泉に行きたい」、「桜が見たい」などの身近な話題や、「人生の最期に食べたいものは○○」、「病気になるても延命治療はしたくない」、「最期は○○で看取られたい」など自由で、希

望はいつでも変えることができます。
会話の中で自分の人生における価値観を明確にすることができ、身近な人にとっては、あなたの希望や価値観を知る機会となります。
新年度を迎え、新たな気持ちで自分の人生について考えていることを身近な人に話してみませんか。
また、高齢者支援課では「人生会議」をする前に自分の希望を考え、記すことのできるエンディングノートを配布しています。
☎（70）0439

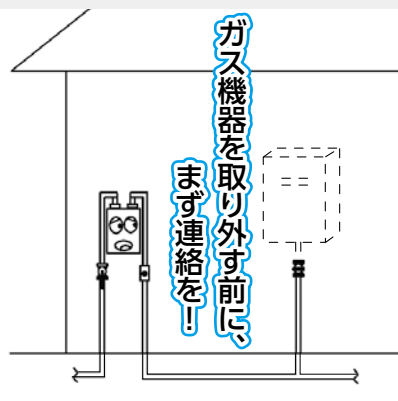
市営ガスをご使用の皆さんへ

電気湯沸器やIHコンロ等の設置のためにガス機器を取り外す際は、事前にガス事業課までご連絡ください。

ガス事業課に申し込みをせずにガス栓やガス配管を変更・撤去した場合は、法律に違反する場合があります。

本市でも、適正なガス元止め工事が行われずに、ガス設備が大変危険な状態で放置されていた事例がありましたので、ご注意ください。

☎（72）1131



市営ガスは、家計にも環境にもやさしい県産天然ガスを供給しています（供給しているガス種は12Aです）。

市ガス事業の経営状況

市ガス事業料金は、平成27年4月に国の認可（旧制度）を受け料金改定を実施し、以降、現行の料金を維持してきましたが、ガス販売量は平成29年度をピークに減少傾向で推移し、令和5年度決算においてガス販売量の大幅な落ち込みにより、約2,000万円の純損失を計上しました。
ガス販売量が減少している主な要因は、気温上昇や人口の減少にあると推測されます。それに加え、材料費および労務費等の上昇に伴う支出が増加しており、経営状況はさらに厳しくなることが予想されます。

市では、環境に優しく経済的な千葉県産都市ガスを安全に、安定して供給できるよう、持続可能な経営を維持してまいります。
純利益が確保できる場合、大規模災害時の応急対応に必要な災害準備積立金等に積み立てていますが、将来必要と想定される額に達していません。
令和5年度に発生した純損失は、欠損金の補てんを目的として積み立てている利益積立金の一部を取り崩すことで補てんしました。
☎（72）1131

●ガス売上(税抜 棒グラフ)、利益・損失(折れ線グラフ)の推移

